

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
保健医療サービス Theory of Health Care Services		2年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(社会福祉士国家試験受験資格取得必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
社会福祉士受験資格指定科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
小竹仁美	講義棟3階	水・木・金（授業時間と学生相談時間を除く）		授業中に指示します
授業の概要				
相談援助活動において必要となる医療保険制度や診療報酬制度、保健医療サービスに関する政策等について知識を習得する。保健医療サービスにおける各専門職の役割を理解し、相談援助の有用性を活かす他職種との連携・協働について考察する。				
授業の目標				
①保健医療福祉制度と医療保健制度の変遷と現状及び政策動向を説明できるようにする。 ②保健医療福祉の利用者にかかわる相談援助専門職として必要な視点や姿勢を明確化できるようにする。 ③患者・利用者の生活を視点に入れた援助の在り方について考察できるようにする。 ④保健医療サービスに関係する専門職及び当事者・家族といった非専門職との連携方法を考察できるようにする。				
授業の方法				
主に講義形式。				
学習の成果（学習成果）				
①保健医療サービスの概要を説明することができる。 ②保健医療福祉にかかわる専門職の役割と各専門職との連携の方法と実際を説明することができる。 ③患者・利用者と家族を含む地域の社会資源との連携の必要性を説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス 保健医療サービスとその構成要素 戦後の保健医療サービスの整備・拡充			
第2回目	医療法改正にみる保健医療サービスの今日的課題			
第3回目	医療連携・チーム医療の推進と社会福祉士・精神保健福祉士			
第4回目	医療法による医療施設の機能・類型 保健医療政策による医療施設の機能・類型			
第5回目	診療報酬による医療施設の機能・類型 介護保険施設の機能・類型 在宅支援システム			
第6回目	医療ソーシャルワーカーの歴史と業務の枠組 業務内容1－マイクロのソーシャルワーク			

第7回目	業務内容2－マイクロからメゾへのソーシャルワーク	
第8回目	業務内容3－メゾからマクロへのソーシャルワーク	
第9回目	保健医療サービス専門職の概観 保健医療サービス専門職の基本的姿勢	
第10回目	保健医療サービスにおける各専門職の視点と役割の実際	
第11回目	医療保険制度と診療報酬制度の概要	
第12回目	介護保険制度と介護報酬の概要 公費負担医療制度の概要	
第13回目	保健医療の専門職との連携方法 連携機関・団体 保健医療の専門職との連携の実際	
第14回目	地域の保健医療ネットワーク構築のための連携方法と基礎知識	
第15回目	地域ケアネットワークの実際	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合 評価の基準
	授業参加態度	20% 授業に集中し、必要なことはきちんとノートにとる。グループワークに積極的に参加し、自分の意見を述べるとともに、異なる意見や立場にも配慮する。
	レポート	20% 課題に意欲的に取り組み、テーマについて自分の意見を記述し、内容構成がしっかりしている。
	調査報告書	
	小テスト	
	試験	60% 正誤問題と論述問題の試験を行う。論述は根拠に基づいており、学んだことを自分のことばで記述している。
	発表内容（態度含む）	
	その他	
教科書と参考図書		
社会福祉士養成講座編集委員会・編／新・社会福祉士養成講座（最新版）保健医療サービス（中央法規）		
履修上の留意点・ルール		
社会福祉士国家試験受験資格取得のための必修科目。教科書の予習をして授業に臨むことを期待する。		